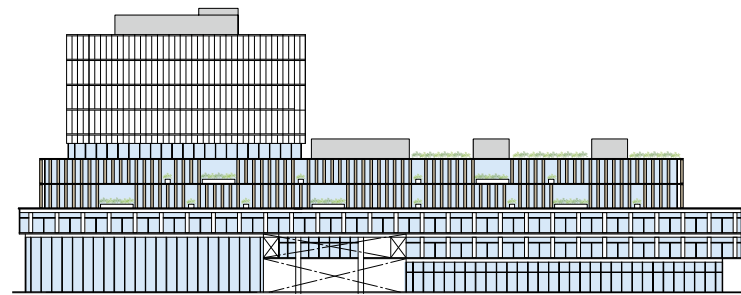


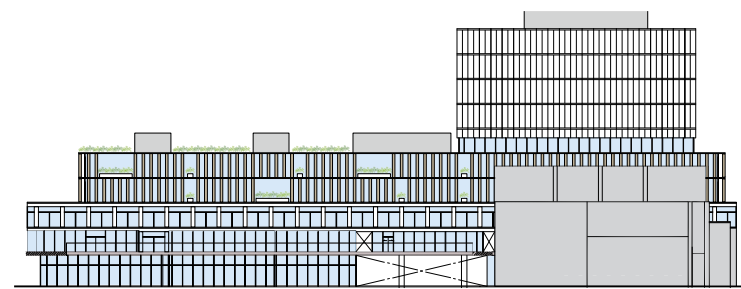
■立面計画

・低層階、中層階、上層階と各階層の機能、特徴に合わせた外装とします。

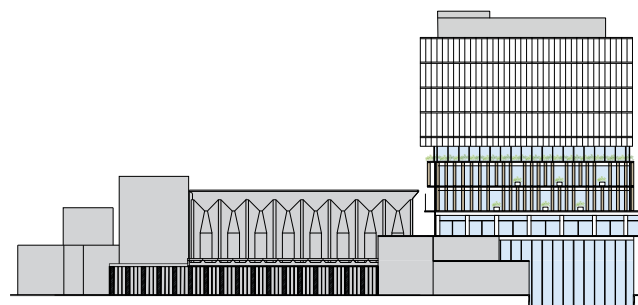
- 低層階 → 区民に開かれた開放的な雰囲気 → 開口部の多い形状
- 中層階 → 上階配置による熱負荷対策 + プライバシーを確保 → ルーバー設置
- 上層階 → 壁面位置を低層部より抑える + シンボリックな外装 → 折板状の外装



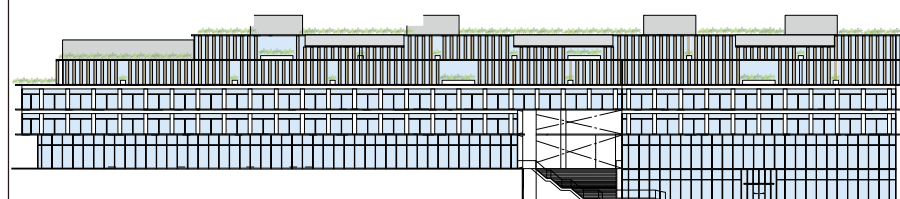
東棟\_東側立面図



東棟\_西側立面図



東棟\_南側立面図



西棟\_西側立面図

■断面計画

【南北断面構成】

○周辺住宅地や広場への圧迫感の低減について

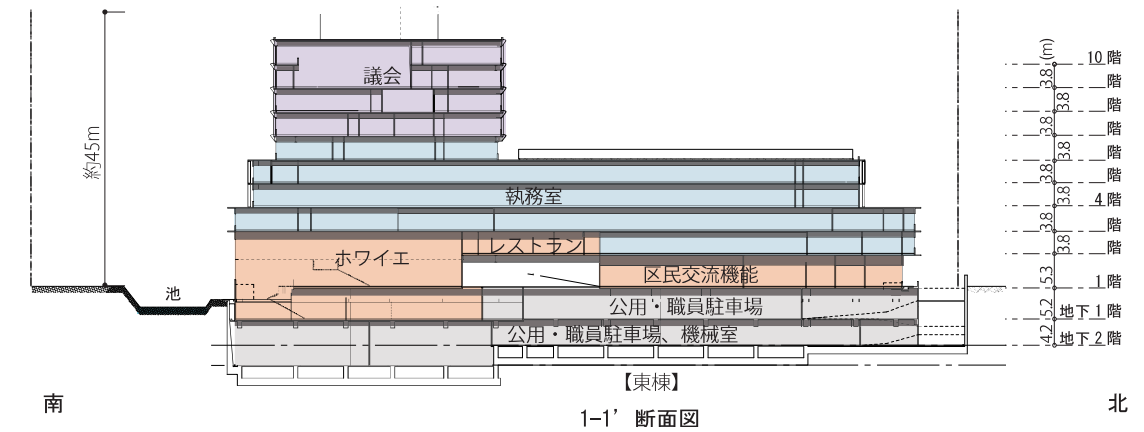
- ・西棟の北側、東棟の北側、南側は、日影の影響や圧迫感等を考慮し、4階以上の建物を後退させ、周辺の住宅地に配慮します。
- ・建物の一部を10階建てとすることで、広場に面した建物ボリュームを東西5階に抑え、広場への圧迫感を極力抑えた計画とします。

○施設機能の断面構成

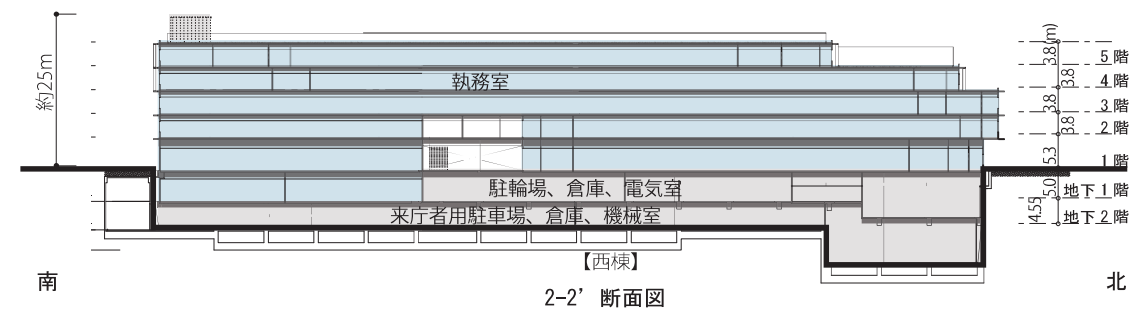
- ・7～10階には、議会機能を配置し、独立性とセキュリティを確保します。

○広場と連続するピロティ空間

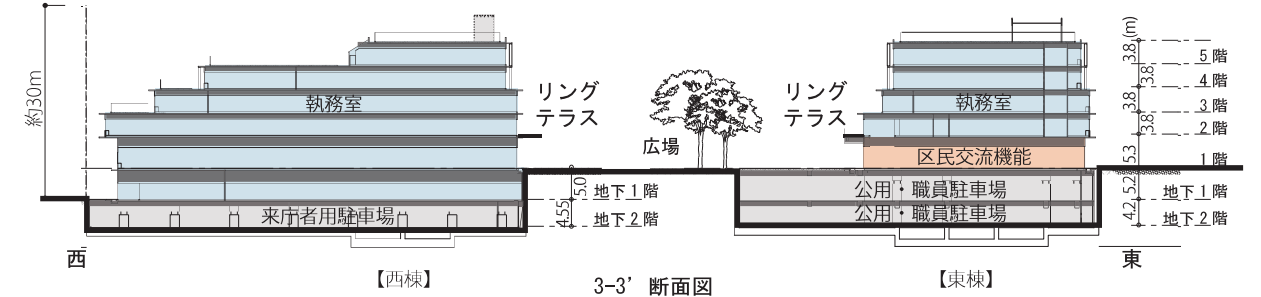
- ・広場へと連続するピロティ空間を踏襲し、東西棟にピロティを設け、東側だけでなく、敷地西側からも直接広場へアクセスできる計画とします。



【東棟】  
1-1' 断面図

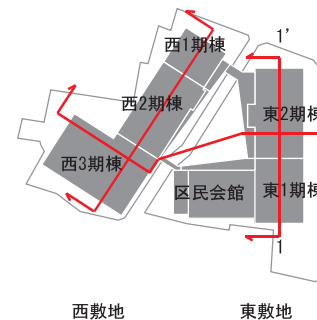


【西棟】  
2-2' 断面図



【西棟】 3-3' 断面図

【東棟】



※基準階高：約3.8m



○天井高さについて

- ・執務室 : 梁下2.5m以上
- ・1階 : 3.2m以上
- ・区民会館ホワイエ: 7.5m(2層吹抜け部分)以上

○柱配置について

- ・東西方向の中央部の柱スパンは16mとし、共用部、執務室サポートゾーンとなる両端部はスパンを短くし、庁舎の執務室のフレキシビリティを確保しながら、構造的に安定するバランスのとれた柱配置とします。

○柱頭免震について

- ・柱頭免震位置は1階下部(西棟は一部地下2階下部)とし、執務室は免震上部とし、駐車場、倉庫、機械室は非免震部とします。
- ・エレベーターは上部から吊る構造とし、また地下の機械室からの配管等はフレキシブルジョイントにすることによって免震可動部のクリアランスを確保します。